



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



千代見草調富貴組

種彦校合

發兌  
菜舖判兵衛之像

外題 園見

上  
2378  
231





千代  
之像

仙果作  
調富貴組  
柳亭種彦校

下

仙果作  
國安画

遠  
2378  
23/

千代見艸

調富貴組

柳亭種彦校

天保  
甲午  
孟春

仙果作  
國安画



山本屋板

おむらじ橋

上  
冊

五十四

柳亭校

# 千代見州

下

冊

仙果作 國安画

午の春

栄久堂

志んばん

壽梓

六

壹

千代見草調富貴組

序やう九倒やう

○この冊子の口紙を表紙の紙に透かして四冊のつらめ趣向の多下余の表紙

裏の中も男女の人物あり一かど表紙をより画せる心なりなと十月半香蝶

樓のちとやらんといふとまきりて作者仙果の意ありたり

○浄瑠璃の發端の九重錦の原本の棟木の由来よりまきりて發端と

本文との更りと別の事ありてことなるその發端の結びとあるが

法則ありけり如くかふきを修を書つてける發端るゝとと仙果の

わひて外口をくゞ直まゆの骨がをを讀めゆるまきりたりとるゝ縁に

そのはやくふまをてあきたり

○薦底をわくつと借て予口上のほつるる目録の記しは遠山

麻子も當年で満尾初編くゞての百灯余り長いゆあり短の毛

あるの八百屋四冊物よりくゞとの御評判と尾張大根小柳藝二より

ちらんて頭を提籠るんを少用を願ひます

天保甲午孟陽

柳亭種彦















































吸月齋